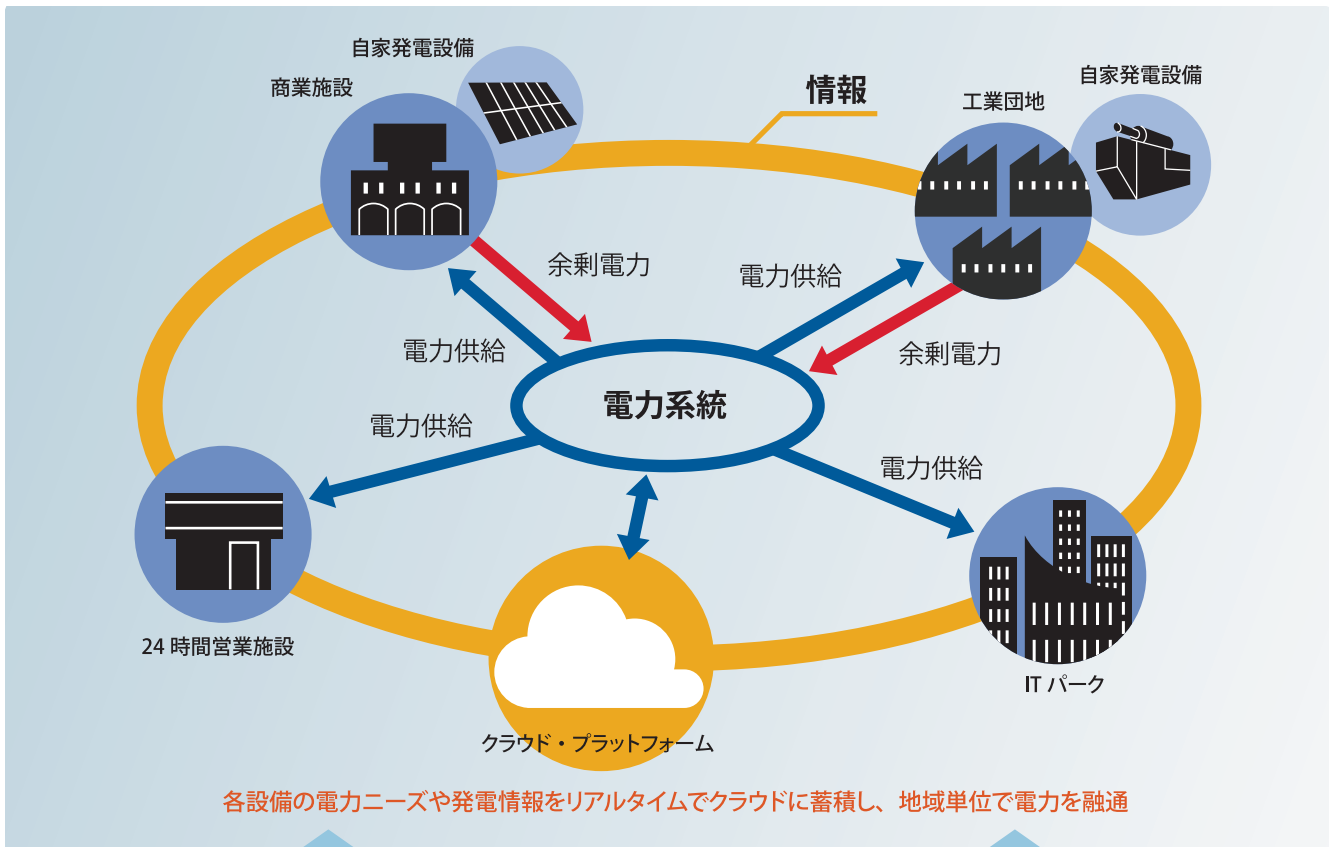


都市課題

新興国都市では、近年急激な工業化や産業の拡大に伴い、電力消費量が増加し、電力料金の負担も増大しています。そこで、効率的な電力供給や、電力消費のあり方を環境配慮型に志向させるための技術や仕組みづくりが課題となっています。

地域単位のエネルギー管理システム

近年、地域や施設単位でのエネルギー管理システム（EMS）構築のための実証試験や技術革新が進んでいます。EMSとは電力使用の可視化、節電のための機器制御、発電機や蓄電器等電力供給側の制御を包括的に管理し、電力の需要と供給の効率化を目指すシステムのことです。また、デジタルグリッドと呼ばれる電力網にインターネットのアーキテクチャを適用する新技術の導入も期待されています。



横浜市内企業やYSCP参画企業の有する技術等

対象	必要な技術・製品・サービス
再生可能エネルギー	太陽光発電、バイオマス発電等
ビル（BEMS）	統合 BEMS、スマート BEMS、ネガワットアグリゲーション等
工場（FEMS）	スマート FEMS、RF 蓄電池、コジェネレーションシステム（ガス発電装置）等
住宅（HEMS）	デマンドレスポンス対応 HEMS、見える化 HEMS、PV 等発電予測、スマートメーター等
地域（CEMS）	デマンドレスポンス機能、需要家登録機能、インセンティブ計算、蓄電池 SCADA 等
共通技術	クラウド技術、デジタルグリッド、無線通信、蓄電池システム等

横浜市の経験・ノウハウ

- 横浜スマートシティプロジェクト（YSCP）
家庭や業務ビルをはじめ、既成市街地でのエネルギー需給バランスの最適化に向けたシステムの導入等を、日本を代表するエネルギー関連事業者や電気メーカー、建設会社等 34 社と横浜市が連携して実証事業に取り組んできました。この実証成果を生かし、エネルギー循環都市を実現させるために、新たに横浜スマートビジネス協議会（YSBA）が設立され、取組を推進しています。

